

確率 1

年 組 番 氏名

① 1つのさいころを投げるとき、次の確率を求めよ。

○1の目が出る確率

$$\frac{1}{6}$$

○奇数の目が出る確率

$$\frac{3}{6} = \frac{1}{2}$$

② 2つのさいころを同時に投げるとき、次の確率を求めよ。

○同じ目が出る確率

$$\frac{6}{36} = \frac{1}{6}$$

○出た目の差が2になる確率

$$\frac{8}{36} = \frac{2}{9}$$

③ 男子3人、女子2人のあわせて5人の生徒の中から、2人を選ぶとき、次の確率を求めよ。

○2人とも男子である確率

$$\frac{3}{10}$$

○男子と女子が一人ずつ選ばれる確率

$$\frac{6}{10} = \frac{3}{5}$$

確率 2

年 組 番 氏名

① 52枚のトランプの中から1枚のカードをひくとき、次の確率を求めよ。

○ひいたカードがダイヤである確率

$$\frac{13}{52} = \frac{1}{4}$$

○ひいたカードが4以下である確率

$$\frac{16}{52} = \frac{4}{13}$$

② 2つのさいころを同時に投げるとき、次の確率を求めよ。

○出た目の和が5になる確率

$$\frac{4}{36} = \frac{1}{9}$$

○出た目の積が12になる確率

$$\frac{4}{36} = \frac{1}{9}$$

③ 右のような4枚のカードがある。この4枚のカードを箱に入れて、そこから1枚ずつ2枚のカードを取り出し、取り出した順に左から右に並べて2けたの整数をつくる。この整数が、次のようになる確率を求めよ。

1 2 3 4

○奇数になる確率

$$\frac{6}{12} = \frac{1}{2}$$

○3の倍数になる確率

$$\frac{4}{12} = \frac{1}{3}$$

確率 3

年 組 番 氏名

① 1から15までの数字が書かれた15枚のカードの中から1枚のカードをひくとき、次の確率を求めよ。

○ひいたカードが奇数である確率

$$\frac{8}{15}$$

○ひいたカードが3で割り切れない数である確率

$$\frac{10}{15} = \frac{2}{3}$$

② 3枚の硬貨を同時に投げるとき、次の確率を求めよ。

○3枚とも表になる確率

$$\frac{1}{8}$$

○1枚が表、2枚が裏になる確率

$$\frac{3}{8}$$

③ 大小2つのさいころを同時に1回投げる。大きいさいころの出る目の数を十の位の数、小さいさいころの出る目を一の位の数として2けたの整数を作る。このとき、次の確率を求めよ。

○50以上の数になる確率

$$\frac{8}{36} = \frac{2}{9}$$

○3の倍数になる確率

$$\frac{12}{36} = \frac{1}{3}$$

確率 4

年 組 番 氏名

① 1つのさいころを投げるとき、次の確率を求めよ。

○偶数の目が出る確率

$$\frac{3}{6} = \frac{1}{2}$$

○3の倍数の目が出る確率

$$\frac{2}{6} = \frac{1}{3}$$

② 2つのさいころを同時に投げるとき、次の確率を求めよ。

○出た目の差が1になる確率

$$\frac{10}{36} = \frac{5}{18}$$

○出た目の和が10になる確率

$$\frac{3}{36} = \frac{1}{12}$$

③ 5円、10円、50円の3枚の硬貨を同時に投げるとき、次の確率を求めよ。

○少なくとも2枚が表になる確率

$$\frac{4}{8} = \frac{1}{2}$$

○表になった硬貨の合計金額が60円以上になる確率

$$\frac{2}{8} = \frac{1}{4}$$

確率 5

年 組 番 氏名

① 52枚のトランプの中から1枚のカードをひくとき、次の確率を求めよ。

○ひいたカードのマークが黒である確率 $\frac{26}{52} = \frac{1}{2}$

○ひいたカードが絵札 (J、Q、K)である確率 $\frac{12}{52} = \frac{3}{13}$

② 2つのさいころを同時に投げるとき、次の確率を求めよ。

○出た目の和が7になる確率 $\frac{6}{36} = \frac{1}{6}$

○出た目の積が奇数になる確率 $\frac{9}{36} = \frac{1}{4}$

③ 袋の中に、赤玉3個、青玉2個、白玉1個が入っている。この袋の中から玉を同時に2個取り出すとき、次の確率を求めよ。

○2個とも赤玉である確率 $\frac{3}{15} = \frac{1}{5}$

○少なくとも1個は青玉である確率 $\frac{9}{15} = \frac{3}{5}$

確率 6

年 組 番 氏名

① 1から15までの数字が書かれた15枚のカードの中から1枚のカードをひくとき、次の確率を求めよ。

○ひいたカードが3の倍数である確率 $\frac{5}{15} = \frac{1}{3}$

○ひいたカードが素数である確率 $\frac{6}{15} = \frac{2}{5}$

② 3枚の硬貨を同時に投げるとき、次の確率を求めよ。

○3枚とも裏になる確率 $\frac{1}{8}$

○少なくとも1枚が表になる確率 $\frac{7}{8}$

③ 右のような5枚のカードがある。このカードの中から同時に2枚をひくとき、次のようになる確率を求めよ。

1 2 3 4 5

○カードに書かれた数の和が8以上になる確率 $\frac{2}{10} = \frac{1}{5}$

○カードに書かれた数の積が奇数になる確率 $\frac{3}{10}$